



2024年4月29日

## 車両の床下機器箱のフタが落失していた事象について

昨日（4/28）21時50分頃、苫小牧運転所構内における車両の検査施行時に床下機器箱のフタが落失していたことが判明しました。

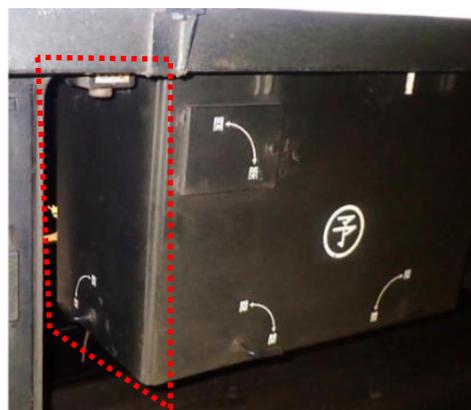
ご利用のお客様には、ご不安な思いをおかけいたしましたこととお詫び申し上げます。

1. 発見日時 2024年4月28日（日）21時50分頃
2. 判明場所 苫小牧運転所構内  
（苫小牧市王子町3丁目6-9）
3. 概況 苫小牧運転所において、同所所属キハ150-110号の仕業検査施行時に床下機器箱のフタが取り付いていないことを認めました。
4. 影響列車 なし  
お客様、乗務員にけがはありません。
5. 推定原因 何らかの原因により床下機器箱のフタが外れたと考えられます。
6. 緊急対策 本日（4/29）運行開始前に、当該車両と同じ配置箇所に所属している同形式であるキハ150形を対象に、運転所において、乗務員・検修社員による床下機器箱のフタの状態検査を実施し、異常ないことを確認しました。

(概況写真)



(事象発見時の床下機器箱)  
フタが取り付けしていない



(正常な状態)  
フタが取り付けいている



(取り付けしていなかったものと同種のフタ)  
約 30 cm×50 cm、3.9 kg